東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Vol.44　第2186回例会　2011.10.6

今年度会長テーマ　和の心　自然に学びて未来を創ろう

■司会：
石山例会運営委員長

■点鐘：小町会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：
野澤会員

■お客様紹介：
神﨑パスト会長

◆ゲスト：朴　動浩様

■会長報告　小町会長

先週のガバナー公式訪問では皆様の協力のもと充実したクラブ協議会になり、水野ガバナーの卓話もわかりやすく細やかなご示唆を頂きありがとうございました。都内のクラブと違い多摩分区は熱い心の会員が多く感動したようです。
昨日、東京青梅ＲＣのホストにて分区連絡会が昭和館で開催されました。
①10月12日のＩＭは220名登録でフォーラムテーマ「ロータリー活動を楽しくするには」にて我がクラブは石山会員にパネラーとして発表して頂きます。
また、多摩分区で現在5名の米山奨学生を預かっているので交流の場として出席要請をお願いしたい。
②12月1日16:00より昭和館にて地区研修委員会を開催します。各クラブより5名以上の出席要請ありました。
③バンコク国際大会に分区としては東京東村山ＲＣがホストで参加の呼びかけをしますと分区幹事よりありました。
④東京東村山ＲＣとして11月23日(祭)ＦＲＣの空堀川清掃の説明をしました。

本日11:00より八坂神社応接室にて理事会が開催されました。
①9月の収支明細報告が金子会計より説明あり承認されました。
②ＦＲＣの事業計画書が田中社会奉仕委員長より提出され承認されました。
4クラブ会員と関係者、及び少年団体に呼び掛けます。管理者東京都への打合せと各クラブへの説明に近日中に伺う。

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／赤木　盛一　樋口　剛史
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

③細渕名誉会員より市・国体推進室より東京国体のカウントボードの寄贈のお願いがありました。
45周年事業との関連で今後検討していく事になりました。
④バンコク国際大会について戸澤国際委員長、山本地区オン・ツー・バンコク委員より経過説明ありました。
⑤会員増強について中丸クラブ委員長より皆様に要望がありました。
⑥田中社会奉仕委員長より11月12､13日産業祭に参加する旨の報告ありました。

本日の卓話は米山月間でもあり米山奨学生の朴動浩さんです。ご期待ください。

■幹事報告　野村(高)幹事

■(財)米山奨学会：
資料の受理
・2010年度事業報告書(2冊)→回覧
・決算報告→回覧
・クラブ米山委員長の手引き→野崎委員長へ
・米山寄付金マニュアル→事務局保管
・豆辞典→メールＢＯＸへ配布

■ガバナー事務所(ロータリー財団委員長)：
地区推薦の震災復興プロジェクト選定のお知らせ並びに協賛申込書記入のお願いについて
〆切　10月14日　ガバナー事務所あて
資料①地区推薦の東日本震災復興基金補助金プロジェクト
②地区推薦の2011-12年度ロータリー財団新地区補助金プロジェクト
③2011-12年度ロータリー財団補助金利用方針
④未来の夢計画
⑤協賛申込書
⑥2011-12年度ロータリー財団新地区補助金提案書兼申請書(震災復興プロジェクト用)
⑦補助金委員会の各分区担当委員

■ガバナー事務所：
・「意義ある業績賞」について
推薦　12月22日(木)まで
・公式訪問のお礼状の受理
・2011～12年度ロータリアン卓話者リストの受理
・ロータリー米山奨学生学友会ピクニック(柴又)の案内について
2011年10月30日(日)　10:30～　柴又帝釈天

■米山奨学委員会：
米山月間資料について→資料4部受理

■東京東久留米ＲＣ：
卓話の依頼の受理
2011年10月11日(火)　12:30～13:30
米山奨学生　朴動浩さん

■例会変更：
東京秋川ＲＣ　10月13日(木)→12日(水)ＩＭへ

■回覧：ガバナー月信10月号

■出席報告　野村(裕)例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
32	22	0	7	75.86

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：2名
■前々回出席率メークアップ修正後：93.10%
■前々会メークアップ者：
飯田会員：京都西ＲＣ
戸澤会員：分区親睦ゴルフ
山宮会員：立川ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　山宮クラブ管理委員

■会員誕生祝月：
樺澤会員
野村(高)幹事

■令夫人誕生祝月：
野崎会員

◆小町会長、野村幹事：
朴さん本日の卓話ご苦労様です。
◆野崎会員：今日は米山月間です。本日は当クラブ

でお世話をしている朴動浩君に卓話をお願いしました。

◆山宮会員：米山月間と聞いて社会人一年生時、お世話になった米山先輩を思い出しました。朴さん卓話よろしくお願いします。

本日のニコニコ合計：　18,000円
累　　計　：　361,700円

■委員長報告

■山本オンツーバンコク地区委員

みなさん改めましてこんにちは。今日は私一人だけですので、たくさん話さなければなりません。まずは、オンツーバンコクの件なのですが、ここ3週間をかけまして、5クラブ全部訪問して参りました。昨年会長の時に表敬訪問にお伺いして以来、1年ぶりということで訪問してきたのですが、やはり、他クラブさんも非常に会員の人数が減っていらっしゃいまして、20の後半ぐらいというところが多く、例会の欠席も15人ぐらいという非常に寂しい例会をなさっているクラブもありました。うちは今日は22～23人いらっしゃるのですが、やはり20人をきって例会をやっていますと、非常に静かすぎて寂しいという感じがありました。また、各クラブの皆さん非常にお元気で、温かく迎えて頂きました。他のクラブに行って感じてきたことですけれど、非常にうちのクラブの例会の司会進行はきちんとしていて、司会進行の石山さんの声もきちんと通るし、非常に秩序の正しい例会が行われているのかなと自分ながら内心誇りを持って帰ってきました。石山例会運営委員長、御苦労様でした。他のクラブに行くと自分のクラブと比較して色々と普段見えないところが見えてくると思いますので、ぜひ欠席された方は、メーキャップをお願いしたいと思います。といってもここにはいらっしゃらないですね。
まずはオンツーバンコクの方からご報告申し上げます。先程会長がほとんど話をして下さいました。青梅クラブさんは例会式に向けて親睦旅行という形でクラブで参ります。他クラブさんは、何人かという形でしかないということなので東村山の方に一緒に乗って行きたいという形で、昨日の福生ロータリークラブの例会で、東村山のクラブと一緒に合同でオンツーバンコクに行きたいという方がいるということで、申込用紙を皆さんにお渡ししてきました。事務局宛てに行く方のお名前等ＦＡＸが来ると思います。事務局もお手数ですけれども、取りまとめを一つ宜しくお願い致します。
東大和ロータリークラブさんもかなり5～6人いらっしゃる感じになると思います。また多くの他クラブの皆様もいらっしゃると思いますので、うちのクラブも他クラブさんより人数が少なくならないよう、ぜひ頑張って頂いて1人でも多くの方のご出席をお願いしたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

■山本会員研修副委員長

続きまして、会員研修の件、今日もふられましたので、未熟ではありますが私の方でご案内させて頂きます。表紙のタイトルが「職業奉仕を考える」ということで、この辺の内容の実践が難しいことは、當麻職業奉仕委員長の方にお任せしたいと思いますので、宜しくお願いします。水野ガバナーの会社訪問ということで、次の段階のステップをお考えになっているそうなので、ぜひ皆様楽しみにお待ちして頂きたいと思います。
まず、ロータリーの友を開けて頂きますと、一番最初に「バンコクで会いましょう」ということで今月号のロータリーの友では2012年の国際ロータリーＲＩ年次大会をホストすることになっている素晴らしい町タイのバンコクが紹介されていますというくだりで始まっております。
そして、タイの内容を簡単に触れて、「タイは見ごたえのある目的地で、本当に微笑みにつつまれた国です。私は特にこれまでタイに訪れたことのないロータリアン達にこの国際大会をチャンスとしてお考えになることをお勧め致します。皆さん親切なホストロータリアン達や、世界中から集まった地区からのあるいは新しい友人達に取り囲まれることでしょう。バンコクは、東南アジアを探求しようとする人々にとってはもってこいの入り口であり、またこの町自体が素晴らしい経験ができる町でもあります。近隣諸国の人々にとっては、ショッピング、食事、観光、グルメ全てのものがある文化溢れる首都を訪れる機会になります。バンコクは皆さんが費やしやすいお金に見合うだけの素晴らしい価値があります。」ということでご紹介されておりますので、ぜひ下の文章も読んで頂ければ非常に良いかなと思います。そして、バンコクの内容のご案内が18～22ページに写真入りでそのまま綺麗に載っておりますので、ぜひお読み頂きたいと思います。それから、横書きの6ページなのですが、職業奉仕に力を注ぐということで、非常に面白い文章と考え方が載っておりますので、やはり職業奉仕が基本で、職業奉仕の中でも特に職業奉仕に力を入れて頂きたい。ロータリーの独自の分野でもある職業奉仕はロータリー全体の土台をなしている。
ガバナー公式訪問やガバナー月誌では職業奉仕の重要性を強調してほしい。職業上の関係は人と人との協力、そして個人の思いやり、誠実さを土台として作られている。
という風に、バネルジーＲＩ会長のアイデアでこのようなことをどんどんやっていきたということが書いてありますので、この辺りもぜひお読み頂きたいと思います。あと個人的に目を引いたところがあるのですが、縦書きの2ページです。「開業国日本よ、元気を出せ」というタイトルで書いてあるのですが、実際最近の造船は、大型造船はほとんど韓国に受注

を取られているようです。そして、一等航海士など上の等級の航海士さんは、フィリピンに専門学校養成所があるため、フィリピンの方が今は多くなっているということで、船も外国製、乗っている方もフィリピンの方が上級の方を占めていることを非常に残念だなというか日本も頑張ってほしいと思いました。38ページのところなのですが、全地区の出席率が入っております。38ページの表の中の左側に赤、黄色、青とあります。黄色の一部が2580地区で、平均の出席率が87.41ということで東村山は90をいっているようなので、平均よりは上ということなので、ぜひこれからも皆さんご協力して頂いて頑張って頂きたいと思います。では、雑駁ではございますが、ロータリーの友のご紹介とさせて頂きました。ありがとうございました。

■田中ゴルフ部部長

こんにちは。本日は社会奉仕委員会としまして、理事会並びに小町会長さんに東京東村山ロータリークラブ事業計画と趣意書並びにＦＲＣ空堀川清掃活動予定実施表、事業計画予算書を提出させて頂きました。多少ぶれていますけれども、とりあえず、内容を少しお話させて頂きます。名称「ＦＲＣ空堀川清掃」と致します。実施は平成23年11月23日、勤労感謝の祭日に行います。参加人数も増えていますが、大体180名、ＦＲＣ会員を80名、青少年各団体のところ100名、まぁこれを超える200名は集めたいと思います。
計画案と致しまして、主な目的、東京東村山ロータリークラブの会長テーマ「和の心、自然に学びて未来を創ろう」に沿って楽しく元気なロータリーライフ、地域と密にしたロータリー活動を行っていきたい。ＦＲＣ行動にて命を一つに。新しい取り組みを企画致します。
1番目、社会奉仕活動を通じ、地域の皆様との絆、これからの未来を担う青少年の皆様と絆を深め、地域及び社会貢献に努めます。
2番目、ゆくゆくは、会員増強のお手伝いになればという思いで、親睦を深め、奉仕を実施して地域の活性化、ロータリークラブの発展に努めます。
何卒、清掃の方宜しくお願い致します。

実　施　日　平成23年11月23日(水・祝)
　　午前9時集合　小雨決行
実 施 場 所　空堀川「からぼり広場」前後1～2㎞圏
参加クラブ　東京清瀬ＲＣ・東京東大和ＲＣ
　　東京武蔵村山ＲＣ・東京東村山ＲＣ
　　(その他)　東村山消防・交通少年団
　　各クラブ交換留学生・米山奨学生
登　録　料　5,000円/1人

■卓話

■卓話者紹介：
野崎米山奨学会委員長

■卓話者：米山奨学生
朴　動浩様

こんにちは。米山奨学生の朴動浩と申します。
ここにずっと座っていて少し後悔しています。最初に東久留米のクラブに行って卓話をする予定でありまして、実は心の中ではここはホームグラウンドなので気楽にやれると思っていたのですが、かっちりとしていないですし、日本語がそんなに早く話せないのでどこまで話せるか分かりませんが、今日は自己紹介のような形でお話したいと思います。
私はソウルで生まれて、大学を出て、韓国は兵役があるので2年半くらい軍隊に入り、それが終わってすぐに結婚をして、設計会社に入りました。韓国の中では大きな設計会社でした。3年くらいそこで働きながら疑問として思ったことがありました。インターナショナルスタイルという建物として世界中のどこにでもあるようなビルを建てることが多く、そういうことに参加していて、韓国の場合は特に日本の下町のような町は住みにくい、汚い、綺麗ではないということで全部撤去してそこに新しいビルを建てるというやり方をしているのですが、仕事でそれをやっていて、それで本当に良いのかという疑問がありました。
再開発を止めるということは、なぜ止めるのかに対して答えを出さなければならないのですが、答えを出せる人は誰もいませんでした。綺麗になるし、お金は儲かるし、住んでいる人も喜ぶのでそれは正しいという理論があって、間違っているということが話せませんでした。それに答えを出すというのが、私が留学を決心した目的であります。
色々と調べて決めたのが、今の母体となっている東京大学の西田先生という方でした。西田先生の研究は建築の専攻なのですが、建築の研究というより人間の研究をしています。人間がどういう行動をしてどういう気持ちで喜ぶのかを研究して、それにふさわしい環境を作る、簡単に言うとそういう仕組みです。それをとてもやりたいと思いました。
それで、3年通った会社を辞めていきなり日本に来たわけですが、今考えれば生意気でした。
予約を取ったわけでもなく、成田に着いて、「韓国から来た者ですが勉強させて下さい」と言いました。いま考えると東大の先生はそんなには会ってくれません。他の先生もそうですが、忙しいので、いきなり来た学生には会ってくれません。でも西田先生はなぜか

会って下さいました。研究室に行って、英語と日本語を交えて「会社を辞めてきました、戻る所がありません。学生をさせて下さい。」と言うと「では条件付きで。院試を受けてもらいますが、合格だけではなく、他の人よりずっと高い点数で合格しなさい。」と言われました。
院試まで1カ月くらい残っていたので、日本の学生が集まっている勉強会に入りました。お金もないし友達もいませんでした。浅草に月3万円くらいの家賃で泊まり、電車代がもったいないので、東大まで歩いて通いました。試験は8月頃でしたので暑く、歩いていると東大の前の本郷辺りに来ると学生達がたくさんいて、当時は僕以外の人は皆幸せそうに見えました。今も学校に行く時はそこを歩くのですが、当時の気持が残っていて、頑張ろうという気持になります。
2007年に試験を受けて、2008年から学校に入りましたが、ちょうどその時に母が亡くなりました。日本で勉強した1ヶ月の間に、母は病気で入院していたので長くはないということが分かっていて、その1ヶ月は特に苦しいというか自分にとって大事な時期だったと思います。
日本に来る時、当時1歳の娘と妻と一緒に来て、3年間働いた時の貯金で勉強しようという甘い考えで始め、計画的には出来るはずだったのですが、2008年からものすごい円高が始まって、ちょうど博士課程をやるかやらないかの時に計画したお金はなくなってしまいました。それと迷っていた時期に息子が生まれて4人家族になりました。日本も民主党に政権が代わって、子供手当が少し増えた、これならいけるかなという甘い考えをしていたのですが、韓国に戻るか日本に残るかとても迷いました。
留学生としては珍しいことなのですが、私は奨学金を考えたことが一度もなく、この迷った時に奨学金をもらえばいいのではと気付いて初めて出したのがロータリークラブでした。
初めて出したのに面接の連絡が来たので、周りの人に言ったらラッキー、運がいいと言われました。では、面接でどうしたらよいかを相談したら、「泣きなさい、涙を見せたら奨学金を出してくれる。」と言われました。さすがにそこまで出来なかったのですが、面接で「お金に困っているが研究に自信があるのでそれを見て評価して下さい。」と言いました。しかし、結果が出るまで1ヶ月、後悔しました。やはり学歴でした。でも、結果が出て今こうしてここに立っていることが嬉しくありがたい事だと思います。こうして研究を続けることになりました。以上が自己紹介です。

次に、研究は何をしているかを話します。
日本に来た時は、再開発に対する答えを出したいという漠然とした目的でしたが、修士の時はまさにそれを研究していて、英語で言うスラムのような所がソウルの真ん中にあります。50年代に戦争が終わって家がなくなった人が、お金はないが、ソウルに住めば仕事があるからソウルにいないとダメということで集まって、でも家賃が払えないので違法で入ってきた地域です。私が研究したケミマウルという所は、日本語で言うとアリの街と言うのですが、そこに住んでいる人がアリのように懸命に働いているイメージと、アリは家を捨ててより良い場所を探して移動するらしい、今はそこに住んでいるがより良い場所を探して皆で行こうという町のスローガンみたいな名前です。そこを研究しましたが、再開発が始まってソウルにそういう街はあまりなく、外から見ると汚く、違法だったりして、そこを無くそうという企業があれば誰も反対しません。そこにお金を出して良くなれば良いのではという話になります。住んでいる人は行くところがなくなります。私は社会学者ではないので、その人達がどこに行くのかはそんなに重要なテーマではなかったのですが、実際に研究するとその町は無くなるほど悪くはないのではないかというのがメインの考えでした。といいますのは、その町の構成は、最初に誰かが違法ですがどこか良い場所に家を立てて、後でそこに住みたい人が入ってくるとその後ろに家を建てる、また入ってくるとその後ろに家を建てるという風になり、初めて家を立てた人の庭が後ろの人の家までアプローチする通路になります。またそれが重なって、街全体で100棟くらい家があり、そういう風に発展しています。街全体の通路がそういう感じで、誰かの庭なのに街の通路であって、街の通路なのに洗濯物を干したり庭のように使っているのが特徴です。
今現在、日本もそうですが、オートロックが流行っていますが、ここではそういうものはいらないのです。普通の人に聞いてみると、貧乏なので盗めるものがないと言うのですが、そうではなくて、本当は知らない人はそこを通れないのです。人の庭に見えるので通路とは思えない、自然にそうなっている仕組みが面白いなと思い、修士論文はそれを書きました。
それを書いてケミマウルの人々に実際にインタビューをしてみると、皆マンションが欲しい、良い場所に移りたいと言うのです。論文を書くのにこれが良いと言っているのに自分達がそう言ってくれないので、論文としては価値が落ちるなと思ったのですが、そこが面白い所で、ではマンションにいたら何が良くなるかを聞いてみると、何も答えられないのです。
今のような隣とコミュニティーが出来ている生活、安全な生活、窓を開けていて、寒い時は温かい家にいて皆で過ごす、昼間はおばさん達と集まってご飯を食べる、そういう生活はマンションでは出来ないと皆知っているのに、言葉ではそれが良いと分かっているのに、でもマンションが欲しいというのが面白いと思います。
その力は何なのかというのが今の私の博士研究としてのテーマです。
そこまで私の考えたのが何の力なのか疑問に思ったのもそうですし、何の力なのか答えを出そうとするヒントは日本の町を見て思ったことが多いです。
東村山も月に1回ここにきますが、駅から歩いてここまで歩いてくる街がとてもいいと思います。個人の感想なので、何とも言えないのですが、その力というのは力の流れが見えてくるというか、その蓄積がすごいと思います。
ロータリークラブで学んだのもそういうことで、ここの例会に参加すると、毎週ここに集まって当たり前に日常生活の一部であるようなコミュニティーが毎週繰り返していることが素晴らしいと思います。
言い方を変えると、これより良いものがここにあるとして、それを誰かが紹介してもすぐに捨てるものではないということです。
日本の街は、韓国の建築を研究している人の中では、イメージ的にはドラえもんの、のび太の街という言い方があります。のび太の住んでいる街は同じよう

な家がどこまでも続くような街並みがあります。そういうのは韓国にはなく、平和に見えて実は面白い面がある　　理想的なのかもしれませんが、実際に日本に来て、のび太の街を見たいという人がいます。そういう人には、自由が丘とか今住んでいる小手指を見せてあげるのですが、日本の街も今僕の言っている意見に反対する方も多いと思います。
なぜかと言うと、実際には問題がありますし、足りないものもあります。
品川の方もそうですが、マンション・アパートなど高いビル、オートロックがとても流行っているのが現実です。
日本の街が良いというのは、それにしても、問題や足りない部分がありますが、実はそこを通してコミュニティーが生まれるきっかけにもなりますし、街に対する愛着にもなります。そういう力の中で包まれてきました。ケミマウルも同じで、いきなりマスタープランを立ててこういう街にしようと出してきても出来ないものです。1からそこに住んで自分の家を個人個人で頑張って出来た街なので、そういう時間の流れによって自然にできたものの力は、本当にすごいと思います。
ロータリーの精神も、まだ私は勉強している途中ですが、そういう精神、偉い人が言っていてこうしましょうというのは絶対に作れないものだと思います。毎週当たり前のように集まって皆さんの力で歴史を持ちながら少しずつ問題があれば解決して社会の力になって高め合っていくのがとてもいいと思います。
最初に奨学金をもらうことになった時に、周りの人がロータリークラブは面倒くさい、月に1回行って例会に参加しなければならないと言っていましたが、うらやましかったのだと思います。最初は奨学金がないと日本に住むことは出来ません。勉強をさせてくれるのは奨学金の力が100%です。でもそれ以上に、ここに参加して大切なことを学んでいる。その事にとても感謝しています。
最後になりますが、皆さん、私にもっと期待して下さい。そして色々なことを教えて下さい。街のこと、人生の歴史、色々と話して下さい。それを学んで、私が目標とするのは、アジア的な価値観、東洋の価値観からきている街づくりをすることです。日本が持っている資料、研究に対する姿勢をとても学んでいて、韓国と日本は似ていることが多く、とても勉強になります。これからもそれを目指して頑張りますので、宜しくお願い致します。

■第4回（10月度）理事・役員会

2011年10月6日（木）
於　八坂神社内社務所 応接間　11:00～12:00

■9月の収支明細報告について
金子会計より報告があり、報告の通り承認された。

■４ＲＣについて
田中社会奉仕委員長より事業計画趣意書・収支計画書・空堀川清掃活動実施予定表の説明あり。當間会員より登録料5,000円の根拠を明確にしておく必要有との助言がありました。参加者への保険と駐車場・昼食場所を再度確認する事を確認。

■Ｉ･Ｍについて
先日の分区連絡会で確認した、「ロータリー活動を楽しくするには」のテーマで1人約10分の発表となる旨を幹事からパネラーの石山会員へ伝えた。

■国体ＰＲキャラクターの作成依頼
平成25年9月28日（土）～10月14日（月）開催予定の東京国体キャラクター作成につき小町会長より説明があり、詳細は後日確認との事。予算は70～80万円。

■国際大会について
先日の分区連絡会に当クラブ主宰のツアーを案内し、東大和ＲＣでは7名の参加申し込みがあった旨幹事が報告。山本地区オンツーバンコク委員より多摩分区内の各クラブへの案内終了の報告がありました。

■会員増強について
幹事より先日の分区連絡会で、各クラブでは順調に増員している旨の報告がありました。

■点鐘：小町会長